



冠松次郎と
穂苅三寿雄

黒部と槍

Valleys and Peaks:
Kanmuri Matsujiro and
Hokari Misuo

2014 3.4-5.6
東京都写真美術館

2階展示室 恵比寿ガーデンプレイス内

【開館時間】10:00-18:00(木・金は20:00まで、入館は閉館の30分前まで)【休館日】毎週月曜日 ただし4月28日、5月5日は開館【観覧料】一般700(560)円/学生600(480)円/中学生・65歳以上500(400)円()内は20名以上の団体料金および東京都写真美術館友の会会員、小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。第3水曜日は65歳以上無料。【主催】公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会【後援】公益社団法人日本山岳会・黒部市・松本市【特別協賛】大仲社【協賛】ニコニコイメージングジャパン/ライオン/清水建設/大日本印刷/損保ジャパン/日本テレビ放送網/東京都写真美術館支援委員会【協力】山と溪谷社

www.syabi.com

冠松次郎《剣の大滝を囲む大岩壁》1926年8月 公益社団法人日本山岳会蔵

天空の頂に登る喜び 神秘の渓を降りる愉しみ

東京都写真美術館では、戦前のわが国の登山史上もっとも著名な登山家の一人であり、黒部渓谷の地域探査や山岳紀行文で知られる冠松次郎と、北アルプ스에서最初期に山小屋経営を行い、山岳写真や槍ヶ岳を開山した播磨上人の研究でも知られる穂苅三寿雄を紹介する展覧会「黒部と槍」を開催いたします。

冠松次郎は、明治16(1883)年、現在の東京都文京区に裕福な質商の家に生まれ、明治35(1902)年頃から登山に目覚めました。明治42(1909)年、26歳で日本アルプスの踏査を開始、同年、辻村伊助の紹介で日本山岳会に入会。その後黒部の自然に魅せられ、大正7(1918)年、立山から黒部本流に足を踏み入れたのを皮切りに、秘境・黒部渓谷を舞台に数々のパイオニア・ワークを果たし、多くの写真と紀行を残し「黒部の主」の異名をとりました。

穂苅三寿雄は明治24(1891)年、現在の長野県松本市に生まれ、幼い頃から山に親しみ、明治42(1909)年に初めて上高地に入り、大正3(1914)年には初めて槍ヶ岳に登ります。上高地・槍ヶ岳一帯の登山道の整備を機に、山小屋建設を決意、大正6(1917)年に槍沢小屋を開業しました。この頃から独学で写真を学び、松本市内に写真館を開業して山岳絵はがきを販売するかわら、山岳写真を撮り始め、地の利を活かした秀作を数多く撮影、大正末期の積雪期の作品など先駆的な業績を数多く残しました。

多くの人びとを魅了してきた「黒部渓谷」と「北アルプス・槍ヶ岳」。本展覧会では、日本が世界に誇るこれらの美しい自然をテーマに、現存するオリジナル・プリントや多彩な資料で、初期日本山岳写真史にその名を刻む二人の偉業を検証します。



黒部の主
冠松次郎



かんむり・まつじろう(1883-1970) 1911年、白馬岳から宇布岳に出た際、初めて黒部に降り、その自然に魅せられる。その後、立山から御山谷を下り黒部本流に足を踏み入れたのを皮切りに、20年、下ノ崖下初試降、25年、下ノ崖下完全通行および十字峯の発見と命名など、数々のパイオニア・ワークを果たす。生涯に書き記した30を超える著作により、黒部を紹介した。



《黒部槍ヶ岳(小窓の崖深より)》撮影年不詳



《十字峯(剣沢・神小屋沢)》1925年8月



冠松次郎が使用した5万分の1地形図「立山」(大正元年測図陸地測量部発行)→愛用のピッケル、ベント製(スイス) 公益社団法人日本山岳会蔵

槍ヶ岳黎明 穂苅三寿雄



《コナシの花と槍ヶ岳》昭和初期



ほかり・みすお(1891-1966) 1917年10月、槍沢の八八平に北アルプスで2番目の営舎小屋となる槍沢小屋を建設。21年、大峰小屋。26年、真の小屋をそれぞれ建設。大正初期から写真家として活躍。39年には東京山岳写真会(現・日本山岳写真協会)の創立会員として参加。播磨上人研究家としても知られ、63年「槍ヶ岳開山 播磨」を出版。



《夏の槍ヶ岳と天狗池》昭和初期



《槍ヶ岳開山 播磨》自筆原稿 →愛用のカメラ、グラフレックス シリーズB



穂苅三寿雄蔵

関連事業

- 【連続対談】
- 「黒部を撮る・黒部に生きる」
日時 3月29日(土) 14:00-15:30
ゲスト 永田秀樹(「岳人」元編集長) 志水哲也(写真家)
- 「槍を撮る・槍に生きる」
日時 4月5日(土) 14:00-15:30
ゲスト 神長幹雄(「山と渓谷」元編集長) 穂苅康治(槍ヶ岳山荘グループ代表)
- 「山を見る・撮る・読む」
日時 4月12日(土) 14:00-15:30
ゲスト 大森久雄(編集者/実業之日本社・元出版部長) 水越 武(写真家)

【開場】13:45(予定)、整理番号順入場、自由席
【定員】各回とも70名
【会場】東京都写真美術館 1階アトリエ ただし、3月29日(土)は2階ラウンジ
【対価】本展覧会チケットの半券をお持ちの方、当日午前10時より1階受付にて、整理券を配布します。

【担当学芸員によるフロアレクチャー】
毎月第1・3金曜日16:00より
*本展覧会チケットの半券(当日有効)をお持ちの上、会場入り口にお集まりください。

冠松次郎関連展覧会のお知らせ
「岳人冠松次郎と学芸官中田俊造 ~戦前期における文部省山岳映画~」
【会場】北区飛鳥山博物館 特別展示室及びホワイエ、講堂
【会期】2014年3月15日(土)~5月6日(火・休) 通常は月曜休館
東京都北区王子1-1-3 北区立飛鳥山公園内
Tel: 03-3916-1133 (代)

東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田一丁目13番3号 Tel: 03-3280-0099

恵比寿ガーデンプレイス内 www.syabi.com

- 車は恵比寿駅より徒歩約7分、東京メトロ有楽町線恵比寿駅より徒歩約10分。
- 当館には専用の駐車場はありません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

